

# 上野高校みらい学において若者会議賞を受賞したこども食堂の実現に向けた実現性を検討しました

## 北中班の討議内容

### こども食堂の実現に向けて

#### メンバー

若者会議メンバー9名

#### 討議内容

##### □ 概要

- こども食堂の事業案を再度確認。
- 目的と手段に関する整理が不十分であることから、目的を再度整理することにした。  
→空き家対策、共働き世帯のこどもの受皿、交流の場の構築、等が考えられる。目的を踏まえて手段を検討すると本当に「こども食堂」を実施すべきなのか疑問である。
- 交流の場は本当に求められているのか、高校生と地域だけではなく自分たち若者世代も含めた交流の場を作るべきではないか、管理者の不在や費用対効果等、実現に向けたハードルは非常に高い。
- 若者会議の拠点構築から始めたほうがよいのではないか。そのためには若者会議を市内外にアピールできる媒体(SNS) SNSが必要ではないか。

##### □ 結論

- 現時点でこども食堂を実現させることは困難であると判断。
- 一方、SNSを早期につくることを行いたい。(奥田さんが中心となり活動を進める)

# 子供を持つ母親目線で必要な場所や機能を検討し、市内各種イベント等に活用してもらうことで、子育てしやすい環境の実現を目指します

## 松木班の討議内容

子供をもつ母親にとって必要な場所等の検討

メンバー

若者会議メンバー3名

討議内容

### □ 概要

- 子育てしやすいまちにするために、子供を持つ母親目線で、市内に必要な場所や機能等を検討し、市内各種イベントの中に検討した要素を盛り込む 例)NINJAフェスタにおいて、子供休憩スペースを準備する
- きっかけは、伊賀上野NINJAフェスタに参加した際に、子供を休憩させられる場所やおむつを替える場所がどこにあるのかわからず苦労したため、子供連れの母親が必要とするものを市内に整備し、母親が子育てしやすい環境を作る

### □ チームミッション(活動目的)

- 子育てしやすい環境を実現すること

### □ 今後のアクションプラン

- 山本さんを中心として、次回企画会議で賛同メンバーを募集する

# 若者会議で田畑(若者会議ファーム)を作ること、若者会議メンバーだけでなく高校生や高齢者なども集う地域交流の場を創出します

## 松木班の討議内容

若者会議ファーム(仮称)

メンバー

若者会議メンバー3名

討議内容

### □ 概要

- ・ 市内にある休耕地等を活用し、若者会議プロデュースによる「若者会議ファーム(仮称)」(田畑)を作る
- ・ 休耕地の提供者だけでなく近隣住民や農業に関する市内有識者等から意見を伺い、若者会議の垣根を超えた多くの人たちと一緒にしながら進める

### □ チームミッション(活動目的)

- ・ 若者会議メンバー以外にも、近隣住民や高校生や子供たちも自由に集えるようにすることで、**地域交流の場所や機会を創出すること**
- ・ 農業の知見を頂戴するために、伊賀白鳳高校の農業系コースや愛農学園とも連携も行うことで、**IGABITO育成につなげる**こと
- ・ 生産した作物を市内外に販売すること(他ソリューションや市事業との連携)で、**若者会議の活動を市内外に広く知ってもらう**こと

### □ 今後のアクションプラン

- ・ 次回企画会議で松木から中心に検討するメンバーを募集する(検討メンバー全員、活動には参加したいが、中心メンバーとしては荷が重いとのこと)
- ・ 中心メンバーが集まり次第、コンセプト作りから検討を始める

# SNSを活用し、伊賀市の日常の魅力を発掘・発信することで、伊賀市を魅力的に感じてもらう人や活動への参加者の増加を目指します

## 田中班の討議内容

### 伊賀SNS協創プロジェクト

#### メンバー

若者会議メンバー5名

#### 討議内容

##### □ 概要

- ・ 伊賀での魅力的なスローライフをSNS(インスタグラム等)を活用して、市内外に発信する。

##### □ チームミッション(活動目的)

- ・ 伊賀市の日常における素敵な場面や資源を整理し、SNS(インスタグラム)による市内外に広く発信することで、伊賀市を魅力的に感じてもらう人やこれら活動に参加してもらう人を増やす。

##### □ 今後のアクションプラン

- ・ ①コンテンツ集め⇒②企画設計(ツアー等)⇒③企画運用の3段階にて本プロジェクトを進める。
- ・ 直近では、「①のコンテンツ集め」として、若者会議メンバーがバズる画像の撮り方を学び、メンバーによる実地体験を行う。
- ・ その後、各メンバーがコンテンツを自主的に集め、集まったコンテンツを整理し、第一弾の投稿テーマの設定とツアー企画の検討を行う。

# お祭り等の地域活動への参加を通し、若者会議の魅力进行PRし、市民に応援される組織にすると共に、若者会議に加わりたと思う若者を増やします

## 松崎班の討議内容(チーム名:広報宣伝部)

### お祭りで若者会議を宣伝しようプロジェクト

#### メンバー

若者会議メンバー4名

#### 討議内容

##### □ 概要

- お祭り等、地域の活動に参加し、露店の出店や御神輿担ぎ等を行い、若者が楽しく伊賀をよりよくしようとしている姿勢を見せることで、若者層からは組織への興味・関心を引き出し、非若者層からは応援される組織にする
- 若者会議専用のTシャツや缶バッジ等のグッズを身に付けて活動し若者会議の認知度向上に努める
- 最終的な目標は若者会議発のお祭りを作ること！

##### □ チームミッション(活動目的)

- 若者会議の魅力を対外的にPRし、市民の認知及び理解、支援を得るとともに、若者会議に関わりたと思う若年層に感じさせることで、主体的な地域活動の担い手を増やす

##### □ 今後のアクションプラン

- 若者会議を対外的にどのような組織として発信していくかの方向性明確化
- 対外的に広報を行うことができる機会の獲得・選定(お祭りでの出店・上野天神祭りでの神輿等)
- 若者会議の組織イメージと合う活動内容の検討
- 実行に向けた関係者への調整
- 活動内容の具体化(必要備品・グッズの企画・製作・調達、実施メンバーの確保、資金の調達)